

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 一般国道274号 徹別道路 <small>てしべつ</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道釧路市阿寒町字徹別原野 <small>くしろ あかん てしべつ げんや</small> 至：北海道阿寒郡鶴居村字上幌呂 <small>あかん つるい かみほろろ</small>		延長 25.3 km
事業概要 一般国道274号は、札幌市から釧路管内標茶町に至る延長約318kmの幹線道路である。 徹別道路は、釧路市阿寒町から鶴居村までの交通不能区間の解消や農産物の流通の利便性の向上、主要な観光地へのアクセス向上など、地域産業の振興、個性ある地域の形成等に寄与することを目的とした延長25.3kmの事業である。		
H5年度事業化		H1年度都市計画決定
H5年度用地着手		H5年度工事着手
全体事業費 149億円	事業進捗率 88%	供用済延長 21.9km
計画交通量 2,500台/日		
費用対効果分析結果	総費用 (残事業)/事業全体 16/279億円 (事業費：11/231億円 維持管理費：5/48億円)	総便益 (残事業)/事業全体 107/323億円 (走行時間短縮便益：102/298億円 走行費用減少便益：3.2/22億円 交通事故減少便益：2.0/3.0億円)
B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 6.7		基準年 平成19年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=7.4 (交通量 +10%) B/C=6.0 (交通量 -10%) 事業費変動：B/C=6.3 (事業費 +10%) B/C=7.2 (事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=6.6 (事業期間+20%) B/C=6.8 (事業期間-20%)		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・物流効率化の支援（農林水産物を主体とする地域において、流通の利便性向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される）		
関係する地方公共団体等の意見 東北海道の基幹産業の物流強化、災害に左右されない交通ネットワーク、観光産業と一次産業の連携強化による地域経済の安定化を図るため、白糠町等1市2町1村の首長等で構成される期成会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年に釧路市・阿寒町・音別町が合併し新「釧路市」が誕生。 平成17年に北海道横断自動車道の本別～釧路間が着工。 平成18年に釧路空港～中標津空港間のルートがシーニックバイウェイ北海道の指定ルートになる。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成5年度より工事着手し、用地進捗率98%、事業進捗率88%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の事業完了を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 道路の平面・縦断線形の見直しに伴う土工量の縮減によりコストの縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。